１６年度ＰＲＴＲデータ公表

The Knights

環境省と経済産業省は、平成 18 年 2 月 24 日に PRTR 制度に基づき、事業者から届け出された化学物質排出量の平成 16 年度データの集計結果を公表しました。

届出排出量・移動量については、以下の通りです。

- 届出事業所数:平成 16 年度 40,341 事業所で、前年度 41,075 と比べて減少
- 届出排出量　:平成 16 年度 270,000 トンで、前年度 291,000 トンと比べて減少
- 届出移動量　:平成 16 年度 230,000 トンで、前年度 235,000 トンと比べて微減

以上のように届出事業所数、排出量、移動量ともに前年度と比較して減少傾向にあります。中でも届出排出量については減少割合が多いことから、事業者による化学物質管理の改善が進んでいるものと考えられます。

また、届出排出量・移動量の多い業種については、①化学工業、②輸送用機械器具製造業、③鉄鋼業、④プラスチック製品製造業、⑤電気機械器具製造業で、前年度とほぼ同じ順です。この 5 業種の合計は 303,000 トンで、総届出量の約 6 割に相当します。

一方、排出量・移動量の多かった物質別に見ますと、①トルエン、②キシレン、③マンガン及びその化合物、④塩化メチレン、⑤エチルベンゼンの順で、エチルベンゼンは微増しましたが、他の 4 物質全てが前年度を下回りました。またトルエンは前年度比で 10,000 トン以上減少しており、VOC 対策の進展が伺えます。人に対して発がん性がある特定第一種指定化学物質については、石綿（アスベスト）の移動量が 564 トンで、前年度の 1/3 以下に、ダイオキシン類も 2,307 トンで前年度と比べて 16%減少しました。

経済産業省では「化学物質管理に関する事業者の自主的な取り組みをさらに推進するために、できるだけ多くの人に関心を持ってもらいたい」とのコメントを寄せています。当社でも PRTR 対象物質の分析（有機溶剤類の廃液の測定等）を行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

~PRTR 制度とは？~

化学物資排出把握管理促進法で定められた 354 種類の化学物質について、事業者が環境への排出量や廃棄物に含まれて移動する量を年度ごとに把握して届け出、国が届け出対象外の排出量の推計と合わせて公表するもので、今回が 4 回目の公表となります。

資料:2006 年 2 月 27 日付　化学工業日報
2006 年 2 月 24 日付　環境省 HP 報道発表試料
2006 年 2 月 24 日付　EIC ネット

機器分析箇所　木村俊

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
ＵＲＬ：www.knights.co.jp

今すぐ、結果が知りたい！っと思った事ありませんか？　業界初新サービス、しかも無料！
「あなたの分析室Webシステム」過去データから最新の分析結果、分析の進捗状況まで
あなたのパソコンからいつでも好きなときにご確認いただけます。
まずは、お問合せください。